

授 業 概 要

授業のタイトル (科目名) 人体の構造と機能及び疾病		授業の種類 (講義)・演習・実習		授業担当者 廣澤 三保子	
回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間	配当学年・時期 1 年 後期		(必修) ・ 選択	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉の臨床現場では、疾病あるいは障害をもつ方への対応が随時要請される。人体の構造と機能や健康の概念を基に、病気の予防、治療を追求する医学の体系への理解を深めていく。加えて、専門的な知識および技能を修得することを目標とする。 <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎となる各器官の正常像、疾患ごとに解説していく。画像を用いたり、小テストを加えながら、理解を深めていく。 心身の障害とリハビリテーションならびに日常生活行動への影響など演習を交えながら理解をつかめていく。 <p>[授業修了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> 人体の基本的な構造や機能について理解する。 臨床医学の各分野の概要について理解する。 現代社会の代表的な疾患について理解する。 医学的リハビリテーションの概要について理解する。 					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <p>コマ数</p> <ol style="list-style-type: none"> ライフステージにおける心身の変化と健康課題。健康と疾病の概念。高齢者に多い疾患。 人体部位の名称。器官と臓器の役割、骨・関節の疾患 疾病の発生機序。リハビリテーションの概念 感染症、生活習慣病、内部障害 神経疾患、認知症、高次脳機能障害、脳血管疾患 心疾患、内分泌、代謝疾患 呼吸器疾患、腎、泌尿器疾患 消化器、肝胆膵疾患、悪性腫瘍と緩和ケア 血液・免疫・アレルギー疾患 口腔疾患・婦人科・産科 1 1. 精神疾患、精神障害、発達障害 1 2. 小児疾患、肢体不自由、知的障害、ICF 1 3. 眼科疾患・視覚障害・聴覚障害 1 4. 視覚障害のある人への介助 1 5. まとめ <p>後期末試験</p>					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 「医学概論」中央法規出版			<p>【単位認定の方法及び基準】</p> 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		